

石原さんで ホントにいいの..!

「都政と教育そして教科書」 3・17教育集会

～どなたでも参加できます～ **入場無料**

日時 - 3月17日(木)午後6時30分～

会場 - 全国教育文化会館7階ホール
(エデュカス東京・麹町) 5210-3511

講演 - 斉藤貴男さん

「石原都政の教育攻撃を斬る」

報告 - 依義文さん

「つくる会教科書」をめぐる状況

寸劇 劇団・白表紙(出版労連)

発言 都教組 / 都障教組 / 都立大職組 /
七生養護 / 国歌斉唱義務不存在
訴訟弁護団

主催 自由法曹団東京支部 03-3814-3971

●最寄駅

JR 四谷駅 下車徒歩7分
JR 市ヶ谷駅 下車徒歩7分
地下鉄 有楽町線 麹町駅 下車2分
地下鉄 都営新宿線 市ヶ谷駅 下車徒歩7分

全国教育文化会館 エデュカス東京

千代田区二番町12-1
電話 03-5210-3511
Fax 03-5210-3512



「つくる会」教科書採択阻止に“熱き闘い”を!

あれから4年。ふたたび「つくる会」教科書をめぐるあの“熱き闘い”が近づいてきました。「つくる会」教科書とは、「新しい歴史教科書をつくる会」編・扶桑社出版の中学生用「歴史」と「公民」教科書のこと。01年発行の「歴史」は、神話と歴史的事実を混同し、天皇制と戦争を美化。アジア諸国にたいする日本の加害責任を否定・隠蔽するものでした。「公民」では、明治憲法体制を肯定し、人権より責任を強調。自衛隊の“活躍ぶり”を描き、日の丸・君が代への服従を要求しました。

しかし01年でのこれらの教科書の採択率は、目標の10%に遠くおよばず、0.1%にも達しませんでした。“リベンジ”を叫ぶ「つくる会」は、「大幅に書き直して良い教科書になった」と自慢。05年に10%の採択をめざしています。しかしその基本的内容に変化はなく、むしろより悪くなっているようです。

こんな教科書を子どもたちに与えることは絶対に許せません。

いまこの国の支配層は、教育基本法の改悪をめざし、憲法改悪を策しています。「つくる会」教科書は、これらの動きと完全に一致するものです。このような教科書の採択を阻止するために、皆さんの“熱き闘い”をよびかけます。(自由法曹団東京支部支部長 松井繁明)